

面積: 169,639平方キロ

(日本の本州の約3/4) (全米50州中23位)

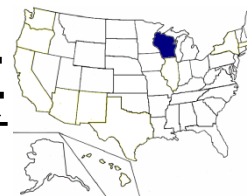
人口: 5,972,787人 (2025年国勢調査推計値) (全米20位)

(白人86%, 黒人7%, ヒスパニック8%, アジア4%)

(2025年国勢調査推計値)

州都: Madison 愛称: Badger State

ウィスコンシン州概要



令和8年3月現在
在シカゴ総領事館

政治

【州政治】

1. 知事: トニー・イーヴァス(Tony Evers)(民)
2019年1月就任、現在2期目

2. 議会構成: 二院制

上院議席数33 民主党15 共和党18
下院議席数99 民主党45 共和党54

3. 内政状況:

大統領選挙におけるスウィング州として知られ、都市部と農村部とで民主党と共和党に分かれる。

1988年以降、大統領選では年によっては僅差ながら一貫して民主党が勝利を収めていたが、2016年選挙では大方の予想に反し、共和党(トランプ候補)が得票率0.7ポイント差という僅差で制した。

2018年知事選挙では、一貫して教育者としての道を歩んできたイーヴァス州教育長官(民)が、保守派現職のウォーカー州知事(共)に勝利した。

2022年の中間選挙では、イーヴァス知事(民)、連邦上院議席はジョンソン議員(共)がそれぞれ接戦の上再選された。州議会は、共和党が多数派を占め、困難な州政運営を強いられる。イーヴァス知事は再選を目指さないことを発表済。

2024年大統領選挙でも事前の予想どおり激戦州となったが、トランプ候補が州のほとんどの地域で得票を伸ばし、その結果、0.86ポイントの僅差ながら勝利した。同選挙期間の一大行事である共和党の党大会が、2024年7月15-18日にミルウォーキーで開催された。

【連邦政治】

1. 大統領選挙人数: 10名

2. 2024年大統領選挙における勝利政党:
共和党(得票率約49.6%)

3. 連邦上院議員

タミー・ボールドウィン(Tammy Baldwin)(民)

ロン・ジョンソン(Ron Johnson)(共)

※本年中間選挙での改選なし。

4. 連邦下院議員(議席数 8名)

民主党2名 共和党6名

経済

【州経済】

1. 主要産業: 製造業(産業、食料)、不動産、金融
・農業: 酪農、果物(クランベリー)¹⁾

2. GDP: 4,785億ドル(2025年)¹⁾

3. 1人当たり個人所得: 70,974ドル(2025年)¹⁾

4. 失業率: 3.1% (2025年12月)²⁾

5. 輸出額: 27,124百万ドル(2025年)³⁾

6. 主要輸出品目: 一般機械、電算電子機器、輸送用機器、化学製品、加工食品³⁾

7. 輸出相手国(2025年):

カナダ(28%)、メキシコ(15%)、オランダ(4%)、中国(4%)、ドイツ(3%)、英国(3%)、ベルギー(3%)、日本(3%)³⁾

8. 財政: (2023年度)³⁾

歳入: 49,806百万ドル

歳出: 51,663百万ドル

債務残高: 23,115百万ドル

9. 経済状況

カリフォルニアと並ぶ全米を代表する酪農州で、牛、乳製品や広大な森林、豊富な地下水を活かした製紙業、ビール生産が盛ん。またハーレーダビッドソン、SCジョンソン等の世界的な大企業が本部を置いている。

【対日経済】

1. 対日輸入額: 508百万ドル(2025年)³⁾

2. 主要輸入品目: 一般機械、化学製品、電算電子機器、電化製品、プラスチック・ゴム製品³⁾

3. 対日輸出額: 736百万ドル(2025年)³⁾

4. 主要輸出品目: 電算電子機器、加工食品、一般機械、化学製品、輸送用機器³⁾

5. 日系企業の進出状況/雇用数:

83事業所/5,499人(2025年)⁴⁾

キッコーマンが1973年にウォルワース工場操業。

※キッコーマン茂木名誉会長は2003年から2019年まで日米中西部会の日本側議長を務めた。

6. 州駐日事務所なし(閉鎖)

出典: 1: Bureau of Economic Analysis, 2: Bureau of Labor Statistics, 3: U.S. Census Bureau, 4: Consulate-General of Japan in Chicago

日本との関係

【要人往来】

(往) 日米中西部会出席のため、知事または副知事が訪日(04年9月、07年9月及び09年9月ドイル知事、13年9月ウォーカー知事、15年9月クレーフッシュ副知事、17年9月ウォーカー知事、19年9月イーヴァス知事)。
(来) 18年5月 菌浦総領事補佐官。25年 佐々木鴨川市長。

【文化・広報関係】

1990年ミルウォーキーにてウィスコンシン日米協会創設。2025年マディソンを拠点に新たな理事会により再稼働。東アジア研究センターを有するウィスコンシン大学マディソン校を中心に、ミルウォーキーやオークアなどで日本語教育、日本研究が行われている。2023年、ミルウォーキー日本人会が活動再開。市郊外で日本文化紹介等を実施。

【日本人学校・補習校数】

補習校1校(マディソン)

【姉妹州・都市関係(14)】

千葉県—ウィスコンシン州

大磯町(神奈川県)—ラシン

三春町(福島県)—ライスレイク

観音寺市(香川県)—アップルトン

那須烏山市(旧南那須町)(栃木県)—メノモニー

岩泉町(岩手県)—ウィスコンシン・デルズ

鴨川市(千葉県)—マニトワック

いすみ市(旧夷隅町)(千葉県)—ウォパン

燕市(新潟県)—シェボイガン

三豊市(旧仁尾町)(香川県)—ワウバカ

阿見町(茨城県)—スーベリア

愛荘町(旧愛知川)(滋賀県)—ウエストバンド

前橋市(旧大胡町)(群馬県)—メナーシャ

帯広市(北海道)—マディソン

【名誉領事】

アンドリュー・シーボーグ(マディソン)

【国際交流基金日米草の根交流コーディネーター】

飯野紗英(～2027年7月ウィスコンシン国際学会派遣)

森川慧子(～2027年7月ウィスコンシン大学スタウト校派遣)